

2016年3月30日

株式会社 電通

代表取締役社長執行役員 石井 直

(東証第1部 証券コード: 4324)

## 電通、中国のデジタルエージェンシー「ダーウィン社」の株式100%取得で合意

株式会社電通（本社：東京都港区、代表取締役社長執行役員：石井 直、資本金：746億981万円）の海外本社「電通イージス・ネットワーク」は、中国・上海にあるデジタルエージェンシー「Darwin Marketing Limited」（以下「ダーウィン社」）の株式100%を取得することにつき、同社株主と合意しました。

ダーウィン社は、中国デジタル広告の黎明期である2006年に設立された中国で最初のデジタルエージェンシーのひとつです。同社の強みはSEM（検索エンジンマーケティング）などのパフォーマンス領域のデジタル広告サービスや、ソーシャルメディアを活用した口コミ・マーケティング（WOM）にあります。同社の先進的なサービスは国内企業のみならず、多くの多国籍企業から高く評価されています。

買収後、当社はダーウィン社を当社グループの9つのグローバルネットワーク・ブランド※の1つでデジタル・パフォーマンス・エージェンシーであるiProspect（アイプロスペクト）の中国拠点に吸収します。これにより、iProspect China（アイプロスペクト中国）は150名のSEMスペシャリストを擁する強力なデジタルエージェンシーとなり、中国に展開するグループ各社との連携を図りながらシナジーの創出を図っていきます。

当社グループのメディア・コミュニケーション・エージェンシーであるCarat（カラ）が2015年9月に発表した「世界の広告費成長率予測」では、2014年の中国のデジタル広告費は前年比35.0%増となりました。景気減速が伝えられる中国ですが、デジタル広告費は2015年に28.5%増、2016年に29.0%増と高成長が続き、2016年には総広告費の4分の1を占めると予測しています。

なお、本件が当社の2016年12月期の連結業績に与える影響は軽微です。

※電通の海外事業を統括する海外本社「電通イージス・ネットワーク社」（ロンドン）は、9つのグローバルネットワーク・ブランドを中心に世界でビジネスを展開しています。9つのブランドとは、Carat、Dentsu（Dentsu Branded Agencies）、Dentsu media、iProspect、Isobar、mcgarrybowen、MKTG、Posterscope、Vizeumを指します。

**【ダーウィン社の概要】**

社 名 : Darwin Marketing Limited (ダーウィン社)  
本社所在地 : 中国・上海  
設 立 : 2006年6月  
株主構成 : 株式取得後、電通イージス・ネットワーク 100%  
収 益 : 1,815 万人民币元 (約 3.2 億円) (2014 年 12 月期)  
代 表 者 : T.R. Harrington (CEO)  
Kenneth Cheung (Vice President Operations)  
従業員数 : 80 名  
事業内容 : パフォーマンス領域を中心とするデジタル広告サービスを提供

以 上